

防災訓練の実施

当社では、使用する設備や化学物質、燃料などが職場毎に異なり、防災訓練が初めての新入社員など個々の防災活動への経験度も多様です。また災害の規模によっては、関係会社との連携も必要となります。このことから防災訓練にあたっては、緊急事態を特定し、より具体的な防災訓練を実施しています。

2008年度では、技術職の新入社員や事務所駐在者を対象とした、消火器と放水ホースを使った初期消火訓練をはじめ、7月には本社の事務所勤務者を対象に、震度6強の大地震が発生した場合を想定した避難訓練を実施しました。また11月には、地元消防署との合同による大規模火災を想定した防災訓練を行いました。特に今回は、消防署員の方は想定状況について事前の説明を一切受けずに訓練に臨まれ、本番さながらの訓練となりました。



非常物資や備品の充実

防災倉庫の設置

当社は、大規模災害に備えるため、2008年10月に当社グラウンドに「防災倉庫」を新たに設置しました。倉庫内には、テントやストーブ、非常食といった緊急物資を保管しています。当社では、今後も倉庫内の緊急物資をさらに充実させていく予定です。



防災倉庫

緊急用ホイッスルの配布

震災時には、がれきの下敷きになるなど救助を呼ばなくてはならない場合が想定されます。そのため事務所および研究所勤務者を対象に、緊急用ホイッスルの配布を行いました。製造現場勤務者は、常時携帯している玉掛け用ホイッスルが災害時の緊急用ホイッスルの役割を果たします。



緊急用ホイッスル